

平成28年産水稻の収量目標

- ①コシヒカリ → 8俵
- ②彩のきずな → 10俵
- ③彩のかがやき → 9俵

安定品質・安定収量で農業所得向上を目指しましょう！

目標達成の為に必要なこと

その① 初期生育（分けつ）の確保

分けつが少ない＝穂数が少ないという事になり収量アップに繋がりません。

中干しまでに必要な分けつを確保しましょう。

必要な分けつ数が確保でき次第、中干しを開始しましょう。

【中干しまでに必要な分けつ数の目安】

【中干し開始時期の目安】

品種	分けつ数	品種	田植え後日数
コシヒカリ	20本	コシヒカリ	30～35日
彩のきずな	25本	彩のきずな	35～40日
彩のかがやき	20本	彩のかがやき	30～35日

その② 的確な中干しの実施と中干しの期間

上記の表にある分けつ数及び田植え後日数になりましたら中干しを開始しましょう。中干しで最も重要なのは「無効分けつの抑制」です。

無効分けつが多いと稲の体力がいつも以上に奪われてしまい品質低下に直結してしまうことから今年の中干しは特に重要な作業となります。

小さなひびのイメージ図



中干しの期間 → 7～10日間を目安（小さなひびが入る程度）

その③ 今年は暑い！？高温対策は必須です！

テレビや新聞等で報道されておりますが、今年の夏は暑い・観測史上、最も暑くなる？

など様々な報道がされております。高温が予想されているのであれば、それに対応する管理を行わなければなりません。

対策1 (表層根の有効活用)	中干しの効果で新たな根が発生します。有効活用する為に適性な水管理！ 中干し後は間断かん水の徹底。根に水分と酸素を供給。湛水は禁物！
対策2 (クーラー効果)	中干し後にケイ酸資材の追肥！ケイ酸を補給することで稲は暑さに強くなる！ケイ酸の効果で根が活性し人間でいう代謝が活発になる為、稲体の温度が下がり高温障害を受けにくくする効果があります。
対策3 (光合成を盛んに)	必ず穂肥！穂肥は収量アップと高温対策には欠かせません！穂肥を行うことで光合成が盛んになります。倒伏が怖くて追肥を控えると品質低下を助長します。基肥で一発肥料を使っている今年も必要だと考えて下さい！

注) 圃場条件等によって上記の対策にあてはまらない場合もございます。穂肥については7月に各地域にて講習会を行いますのでご参加をお願い致します。なお、次回No.2は7月上旬頃を予定しております。

参考

平成28年 水稻生育調査データ (6月9日調査)

<東部地域>

	品種	田植え日	草丈(cm)	莖数(本)	葉色
27年	コシヒカリ	5月4日	34.0	16.1	4.5
28年		5月5日	45.5	18.0	4.5

	品種	田植え日	草丈(cm)	莖数(本)	葉色
27年	コシヒカリ	5月15日	35.1	10.1	4.5
28年		5月21日	31.0	7.4	4.5

	品種	田植え日	草丈(cm)	莖数(本)	葉色
27年	彩のきずな	5月15日	37.1	8.1	4.5
28年		5月16日	28.0	6.3	5.0

<川越地域>

	品種	田植え日	草丈(cm)	莖数(本)	葉色
27年	コシヒカリ	5月1日	47.9	30.1	5.0
28年		5月1日	41.0	23.8	4.0

	品種	田植え日	草丈(cm)	莖数(本)	葉色
27年	コシヒカリ	5月16日	29.4	7.2	4.5
28年		5月14日	30.7	9.3	5.0

	品種	田植え日	草丈(cm)	莖数(本)	葉色
27年	彩のきずな	5月1日	45.1	27.8	4.0
28年		5月1日	38.1	20.3	5.5

	品種	田植え日	草丈(cm)	莖数(本)	葉色
27年	彩のきずな	5月20日	18.8	6.5	3.5
28年		5月22日	24.3	6.0	4.5

<北部地域>

	品種	田植え日	草丈(cm)	莖数(本)	葉色
27年	コシヒカリ	4月28日	57.1	31.4	4.5
28年		4月28日	38.7	15.1	5.0

	品種	田植え日	草丈(cm)	莖数(本)	葉色
27年	コシヒカリ	5月21日	31.5	12.9	4.0
28年		5月25日	26.1	3.5	5.0

	品種	田植え日	草丈(cm)	莖数(本)	葉色
27年	彩のきずな	5月20日	27.3	10.3	4.0
28年		5月22日	22.1	3.4	4.5